

令和4年(2022年)8月25日(木)

教育局学び推進課

むすびつくばに関する利用者在籍校のアンケートまとめ

1 アンケート実施目的

令和2年10月から令和4年3月まで民間事業者との協働事業として実施した公設の不登校児童生徒学習支援施設「むすびつくば」について、この支援施設を利用した児童生徒が在籍していた学校に対し、むすびつくばとの連携状況や当該児童生徒への関わり方等を伺い、協働事業の検証材料とする。

2 アンケート実施内容

- (1) 実施期間 令和4年(2022年)6月27日～7月6日
- (2) 対象者 令和2年度又は令和3年度にむすびつくばに通所した又は体験利用をした児童生徒が在籍していた市内公立小中学校及び義務教育学校 全24校
- (3) 調査方法 学校毎にアンケート用紙(エクセルデータ)に入力し、回答
- (4) 集計方法 各学校からの自由記述意見を、類似の内容に分類して集計

3 アンケート結果

問1 むすびつくばでの児童生徒の学習及び活動の様子について、どのように情報を把握していましたか。

- ・保護者からの聞き取り(電話、面談、家庭訪問等) 12件
- ・むすびつくばからの出席状況報告書による確認 9件
- ・児童生徒からの聞き取り(面談、登校時等) 8件
- ・担任やSCとむすびつくばの情報交換(担任や学年主任等の施設訪問、むすびつくばの学校訪問等) 6件

問2 不登校児童生徒に対し、むすびつくばの案内はできましたか。

- ・案内できた(担任やSCとの面談時、文書配付、校内にリーフレット掲示等) 16件
- ・できたりできなかつたりした 4件
- ・案内するよりも前に、保護者が自ら調べて見学等を行った 3件
- ・できていない 2件

問3 むすびつくばに通所する児童生徒について、学校内でどのように情報共有を図っていましたか。

- ・会議（生徒指導部会、職員会議、ケース会議等） 19件
- ・報告書やむすびつくばからの資料を回覧（管理職、教務主任、生徒指導主事、担任） 6件

問4 むすびつくばについて、教職員はどの程度理解していましたか。

- ・全職員が理解していた（理解できるように努めていた） 12件
- ・関係職員（担任、学年の職員）以外は理解が不十分だった 10件
- ・その他 2件

問5 むすびつくばに通所して、児童生徒の様子に変化は見られましたか。

- ・表情や態度に変化があった（明るい表情、自信がついた様子、学習意欲の向上等） 11件
- ・行動に変化があった（学校行事への参加、人との関わりに変化がみられた等） 8件
- ・特に変化は見られなかった 5件

その他自由意見

- ・むすびつくばを紹介するポスターや案内があると、保護者へ紹介しやすい。
- ・保護者もむすびつくばにお世話になるようになって、安心している様子である
- ・定期的に情報共有し、先（進学等）の見通しを含めた対応をしたい。
- ・生徒本人たちが少しでも将来の夢や希望をもてるよう、力を貸していただけたらと思う。
- ・不登校生徒にとって貴重な場所であるので、不登校生徒の情報を電話等でも共有したい。
- ・これからも連携を図りながら、子どもたちの成長を見守りたい。
- ・通いたいという希望をもつ生徒・保護者がいる一方で、受入人数の関係で二の足を踏むケースも見られた。